

令和5年度「全国キャリア教育・就職ガイダンス」 キャリア教育・就職支援の取組事例紹介 タイムテーブル

6月20日(火)	Time	6月21日(水)
<p><b>名古屋産業大学</b> (9:30-10:00)</p> <p>インターンシップを中心に添えた地域連携(行政との連携) —名古屋産業大学と瀬戸市役所の地域連携事業—</p> <p>事例紹介別“立ち話”交流会 (10:00-10:20)</p>	9:30	<p><b>下関市立大学</b> (9:30-10:00)</p> <p>下関市立大学流「就職支援」 ～活気あふれるキャリアセンターづくり～</p> <p>事例紹介別“立ち話”交流会 (10:00-10:20)</p>
<p><b>JX金属株式会社</b> (10:30-11:00)</p> <p>ジョブ型研究インターンシップの事例紹介</p> <p>事例紹介別“立ち話”交流会 (11:00-11:20)</p>	10:30	<p><b>埼玉大学</b> (10:30-11:00)</p> <p>「長所」をのばし、「力」にかえる —アセスメントテストを用いたキャリア教育、 就職支援の事例報告</p> <p>事例紹介別“立ち話”交流会 (11:00-11:20)</p>
<p><b>敬愛大学</b> (11:30-12:00)</p> <p>産学連携キャリア教育「ワイガヤLab」の取り組み ～PBL×リカレント～</p> <p>事例紹介別“立ち話”交流会 (12:00-12:20)</p>	11:30	<p><b>(独)日本貿易振興機構(ジェトロ)</b> (11:30-12:00)</p> <p>日本企業の外国人材活用とジェトロの支援事例</p> <p>事例紹介別“立ち話”交流会 (12:00-12:20)</p>
<p><b>名古屋経済大学</b> (13:00-13:30)</p> <p>グローバル人材育成を掲げる中規模大学の 留学生向けキャリア教育・就職支援 —産官学連携、教職協働、部門間連携をキーワードに—</p> <p>事例紹介別“立ち話”交流会 (13:30-13:50)</p>	13:00	<p><b>崇城大学</b> (13:00-13:30)</p> <p>地方小規模実学系大学と地元企業との協働による 初年次・キャリア・専門教育をとおした課題解決型の キャリア教育プログラム</p> <p>事例紹介別“立ち話”交流会 (13:30-13:50)</p>
<p><b>京都医療科学大学</b> (14:00-14:30)</p> <p>入学前から卒業までの一貫した キャリア教育・支援について</p> <p>事例紹介別“立ち話”交流会 (14:30-14:50)</p>	14:00	<p><b>奈良先端科学技術大学院大学</b> (14:00-14:30)</p> <p>奈良先端大キャリア支援の取組 (全学支援と英語留学生支援)</p> <p>事例紹介別“立ち話”交流会 (14:30-14:50)</p>
<p><b>信州大学</b> (15:00-15:30)</p> <p>デジタルサイネージを用いた学内での 就職活動情報放映の取り組み ～来場者分析システムを用いた現状把握～</p> <p>事例紹介別“立ち話”交流会 (15:30-15:50)</p>	15:00	<p><b>愛知大学</b> (15:00-15:30)</p> <p>「就職をゴールとしない」産官学が連携して実施する 愛知大学低年次キャリアデザインプログラム ～CAREER FIELD～</p> <p>事例紹介別“立ち話”交流会 (15:30-15:50)</p>
<p><b>山形大学</b> (16:00-16:30)</p> <p>「誰一人取り残さない」多様な学生に対する 就職支援の取り組み事例</p> <p>事例紹介別“立ち話”交流会 (16:30-16:50)</p>	16:00	<p><b>新潟大学 &amp; hakkai株式会社 &amp; JETRO</b> (16:00-16:30)</p> <p>地域と世界をつなぐグローバル人材へのキャリア教育 ～地元企業での外国人留学生のインターンシップを事例に～</p> <p>事例紹介別“立ち話”交流会 (16:30-16:50)</p>

※ 各事例紹介の発表概要は、2ページ目、3ページ目をご覧ください。

6月20日（火）「キャリア教育・就職支援の取組」事例紹介 発表概要

Time	発表機関	タイトル
	発表概要	
9:30-10:00	<b>名古屋産業大学</b>	<b>インターンシップを中心に添えた地域連携(行政との連携) —名古屋産業大学と瀬戸市役所の地域連携事業—</b>
	瀬戸市役所と名古屋産業大学が、地域連携の一環として、インターンシップ領域の実務家教員が約2年間実践した事例を取り上げる。1.名古屋産業大学と瀬戸市役所の連携の仕組みと取り組み 2.瀬戸市内企業へのインターンシッププログラムの助言・瀬戸市内企業向けのインターンシップセミナーの開催・瀬戸市内企業への伴奏支援プログラムの策定・市内企業と学生によるワークショップの開催 3.瀬戸市内企業の長期実践型インターンシップ(加藤工務店の事例) 4.瀬戸市役所のインターンシッププログラムの助言と実行・複数部署を体験可能な5日間のインターンシッププログラムの策定 5.瀬戸市内企業複数社を体験可能なインターンシッププログラムの作成(NPO法人G-netが主催する「シゴトリップ」の応用)	
10:00-10:20	事例紹介別“立ち話”交流会	
10:30-11:00	<b>JX金属株式会社</b>	<b>ジョブ型研究インターンシップの事例紹介</b>
	JX金属における、大学院博士後期課程の学生を、ジョブ型研究インターンシップの枠組で受入れ・活用した実績についてご紹介させていただきます。	
11:00-11:20	事例紹介別“立ち話”交流会	
11:30-12:00	<b>敬愛大学</b>	<b>産学連携キャリア教育「ワイガヤLab」の取り組み ～PBL×リカレント～</b>
	これまで取り組んできたPBL型キャリア講座、授業の枠を超えて学生と若手社員との交流の場を設定、「jobで社会を良くする」を目指し、双方の自己効力感が高まる雑談の場を作る試みを報告します。枠組みは前後期各10週ずつ設定し、4つの選択肢から同じテーマを選択した者4、5人でグループを結成、対面プレーストリーミングに取り組む試験も単位認定もない自主勉強会、サークルのような形としました。参加者は、学年、学部異なる学生間や企業人とのプレーストリーミング、また業種業態異なる企業人間や学生とのプレーストリーミングに取り組みます。同じテーマを異なる視点で意見を交わすからこそ視野が広がり、jobと社会の関わりに新たな気づきを得られ、自己効力感も高まると考えました。就活や自己啓発を目的とした学生サイドの視点や採用やリカレントを目的とした企業サイドの視点、また教育効果の視点からも検証したいと思えます。	
12:00-12:20	事例紹介別“立ち話”交流会	
13:00-13:30	<b>名古屋経済大学</b>	<b>グローバル人材育成を掲げる中規模大学の留学生向けキャリア教育・就職支援 —産官学連携、教職協働、部門間連携をキーワードに—</b>
	本学はグローバルに活躍する人材育成を教育目標に掲げ、積極的に外国人留学生(以下、留学生)を受け入れてきた。留学生の多くが卒業後日本での就職を希望し、2016～2020年度の日本での就職率は累計75.0%と高水準を実現している。その一因が、1年次からの留学生の就職・キャリアに役立つ教育・支援である。例えば日本で働く具体的なイメージを持たせるため、1年次から留学生に特化したキャリア科目を開講、2年次には5日以上のインターンシップを必修化。また、学内の国際交流センターやゼミ教員、学外団体・機関、行政書士などの専門家との連携などによる就職活動や卒業後の在留資格についてのガイダンスなどを授業内外で開催している。結果、日本で就職を希望する留学生の就職決定率は2016年度より7年連続で100%、300名以上を地域社会に送り出してきた。本発表では産官学連携や教職協働、部門間連携による取り組みを紹介する。	
13:30-13:50	事例紹介別“立ち話”交流会	
14:00-14:30	<b>京都医療科学大学</b>	<b>入学前から卒業までの一貫したキャリア教育・支援について</b>
	本大学の就職支援課には、2018年4月に赴任しました。当初は主に就活生への就職支援を行っていましたが、その中で、より早い時期からのキャリア教育・支援が必要であることを痛感し、後期からは、新しい支援を出発点から先ずは開始しました。その中で次年度に向けてのキャリア支援プログラムを計画し、キャンパス内で全学生がいつでも来室出来るように、より広い場所へ移転してキャリア支援センターを立上げました。また、コロナ禍でのキャリア支援も十分ではありませんがZOOMにて対応を行ってきました。2020年度からは、高大接続の観点も取り入れて入学前の生徒に対して月1回のペースで12月から4回、大学入学にあたっての不安などを和らげるプログラムに取り組んできました。このプログラムの最終回は入学式直前に来学し、対面でのチームビルディングにて、とまどち作りのきっかけワークを実施してリアルでの関係性が作れるように取組んできました。これらの取組みを進めることで、入学前から卒業までの一貫した支援の枠組みを構築する道筋ができたと思います。	
14:30-14:50	事例紹介別“立ち話”交流会	
15:00-15:30	<b>信州大学</b>	<b>デジタルサイネージを用いた学内での就職活動情報放映の取り組み ～来場者分析システムを用いた現状把握～</b>
	信州大学では、学生の地域企業への関心を高めるために、学内の食堂前空間にモニターを設置し、デジタルサイネージを用いた就職活動情報として企業紹介動画を放映する取り組みを行っている。企業紹介動画は、学内合同説明会の出展企業等に依頼し各社が作成し、企業の特徴やアピールすべき点を1分程度で簡潔に紹介しているものである。近年、学生が望む就職活動情報と大学や企業が考える就職活動情報にズレがあるという指摘も存在する中で、実際にどれだけの学生がいつ足を止めて視聴しているか、来場者分析システム「視来リンク」を用いて調査を行った。今回の事例紹介では、デジタルサイネージを用いた動画放映までの流れと来場者分析システムを用いた動画視聴調査の結果の発表を行う。	
15:30-15:50	事例紹介別“立ち話”交流会	
16:00-16:30	<b>山形大学</b>	<b>「誰一人取り残さない」多様な学生に対する就職支援の取り組み事例</b>
	本学では、就職を希望する学生を誰ひとり取り残さない就職支援を目指しています。2019年からの4年間、就職活動に不安を感じている多様な学生に対して、早期から職業準備性を高める講座や継続フォローなどを実施してきました。本報告では、これまでの成果および今後の課題について紹介します。	
16:30-16:50	事例紹介別“立ち話”交流会	

6月21日（水）「キャリア教育・就職支援の取組」事例紹介 発表概要

Time	発表機関	タイトル
	発表概要	
9:30-10:00	下関市立大学	下関市立大学流「就職支援」 ～活気あふれるキャリアセンターづくり～
	<p>コロナ禍前にはなりますが、いくつかの地域エリアを回っていらっしゃる企業の採用ご担当者様から「こんなに学生が来ているキャリアセンターは見たことない」とおっしゃっていただけることが多くありました。なぜ、学生のキャリアセンター利用者数が多いのか。また、大学通信オンラインの学部系統別実就職率ランキングで毎年のようにランキング上位になる理由は何か。これらの結果は偶然ではなく、仕掛けづくりが効果を発揮しているものと自負しております。本学よりも素晴らしい取り組みをしていらっしゃる大学様の方が、むしろ、多いように感じています。本学の取り組みを発表させていただくのは非常におこがましいのですが、どのような仕掛けを意識しているのかをお伝えすることで、他大学様の参考になればと考えております。アフターコロナに向けて、再度学生との接点を取り戻すべく動き出す必要があります。皆様と是非、情報交換できれば幸いです。</p>	
10:00-10:20	事例紹介別“立ち話”交流会	
10:30-11:00	埼玉大学	「長所」をのばし、「力」にかえる ーアセスメントテストを用いたキャリア教育、就職支援の事例報告
	<p>埼玉大学では、大学独自のアセスメントテスト「VSAT（通称：長所発見テスト）」を開発し、授業プログラムや就職支援の場で活用している。学生は、ここで可視化された自身の強みと向き合うことで、自分の長所をいかにせる職業が何かということやその強みをのばしていくために大学で何を学ぶべきかを考えるきっかけを得られるようになった。併せて、キャリア教育プログラムに参加する企業にもVSATを受検してもらい、その結果を学生と共有することで、学生は企業への理解を一層深めることが可能となり、結果として就職時におけるミスマッチや早期離職防止にもつながることとなった。本報告では、埼玉大学キャリアセンターが中心となり進めてきたアセスメントテストを活用したキャリア教育（課題解決型プログラム）、就職支援（アドバイジング、個別フィードバック、動画作成等）の取り組みを紹介し、今後のキャリア教育、学生支援のあり方を展望する。</p>	
11:00-11:20	事例紹介別“立ち話”交流会	
11:30-12:00	(独)日本貿易振興機構(ジェトロ)	日本企業の外国人材活用とジェトロの支援事例
	<p>日本企業の事業環境変化と外国人材ニーズについて解説すると共に、そうした日本企業に対するジェトロの支援ならびに成果事例について紹介する。</p>	
12:00-12:20	事例紹介別“立ち話”交流会	
13:00-13:30	崇城大学	地方小規模実学系大学と地元企業との協働による 初年次・キャリア・専門教育をとおした課題解決型のキャリア教育プログラム
	<p>2019年度から、初年次教育「SOJO基礎」を起点とし、2年次以降のキャリア系科目と専門科目において、地元企業が学科の領域に関連する課題を提供し、それを解決するPBL型のキャリア教育プログラム(SOJOプロジェクト教育)を開始しました。初年次生は専門知識を必要としないアイデアによる解決学修を反復し、2年次以降は学年に応じた基礎的な専門知識をもって最善解を求めます。この組織的な取り組みによって学生を主体的な学修へ導き、あわせて習得した知識と技能とを実社会で活用できる人材の育成・輩出を目指しており、本学の教育の質保証につながるものと考えています。協力企業からは「チーム活動の重要性」「企業と大学の協力は不可欠」などの理解を得ており、授業をとおした学生との接触により、自社の紹介、インターンシップ・新卒募集などの絶好の機会ともなっています。今回はプログラムの概要、成果、問題点を報告いたします。</p>	
13:30-13:50	事例紹介別“立ち話”交流会	
14:00-14:30	奈良先端科学技術大学院大学	奈良先端大キャリア支援の取組(全学支援と英語留学生支援)
	<p>本学は大学院のみの大学であり、約1,000名(博士前期課程:約700名、博士後期課程:約300名)の学生が在籍しています。学部を持たないこともあり様々なバックボーンを持った学生が所属しており、研究分野を変えたり、文系学部出身の学生もおります。また、世界40以上の国から多様な外国人留学生を受け入れており、全学生の4人に1人が留学生で構成されています。こうした背景から、学生の状況に応じたキャリアガイダンスやワークショップ、キャリア相談の場を提供することを意識しております。特にコロナ禍以降は、画一的なセミナーへの参加者が減少する中、学内にあるキャリア支援室だからこそできることを試行錯誤しています。また、留学生に特化した様々なキャリアガイダンスや企業交流会の機会を独自提供し、英語によるきめ細やかな支援を行っています。当日、具体的な事例についてお話をさせていただきます。</p>	
14:30-14:50	事例紹介別“立ち話”交流会	
15:00-15:30	愛知大学	「就職をゴールとしない」産官学が連携して実施する 愛知大学低年次キャリアデザインプログラム～CAREER FIELD～
	<p>愛知大学キャリア支援センターでは、2019年度より「低年次キャリアデザインプログラム～CAREER FIELD～」と題して、1・2年生を対象とした産官学が協働したプログラムを開発しています。①活躍する社会人との接点・現場体験、②学生企画の具現化、③成果発表・WEBページ作成を通じた発信力向上。これらの3点を意識して、課題解決型、業界企業理解型、地域創生型、新商品開発型など様々な学生のキャリアを育むフィールドを用意するなど、就職をゴールとしない形で、社会人基礎力の養成や、望ましい就業観の醸成を目的として、低年次学生が将来のキャリアビジョンを描くことを支援するプログラムを展開しており、今回、その狙いや取組事例についてご紹介いたします。</p>	
15:30-15:50	事例紹介別“立ち話”交流会	
16:00-16:30	新潟大学 & hakkai株式会社 & JETRO	地域と世界をつなぐグローバル人材へのキャリア教育 ～地元企業での外国人留学生のインターンシップを事例に～
	<p>2023年3月、日本貿易振興機構(ジェトロ)、新潟地元企業(hakkai株式会社)と連携して、新潟大学は本学在籍の、文部科学省の国費留学生と私費留学生を対象に、二日間のインターンシップを行った。経済産業省のインターンシップ目標設定などを参考に、インターンシップ全体の設計や評価を行った。その結果、参加学生から「今回のインターンシップは日本や新潟での就職の第一歩となり、とても勉強になった」「将来のキャリアに非常に役立つ」「毎日刺激的で、教科書で学べないことをたくさん学べた」といった好評を得た。また、新潟地元企業(hakkai株式会社)としては、「外国人留学生のインターンシップについて、今回初めて新潟大学と連携し実行することができた」と評価し、「これを今後の外国人材のインターンシップの企画や実施、採用に繋げていきたい」と語った。</p>	
16:30-16:50	事例紹介別“立ち話”交流会	